

第72回 *NHK* 杯全国高校放送コンテスト大阪大会 ならびに校内放送活動研究会実施要項



主	催	大阪府高等学校視聴覚教育研究会	<i>NHK</i> 大阪放送局
後	援	大阪府高等学校芸術文化連盟	
期日および会場		予選……………6月7日(土)	番組部門非公開審査
		6月8日(日)	アナウンス部門・朗読部門公開審査 (会場 阪南大学高等学校)
		決勝……………6月15日(日)	アナウンス部門・朗読部門・番組部門公開審査 校内放送活動研究会・校内放送研究発表大会 (会場 相愛高等学校)

目 次

1. はじめにー研究主題(統一テーマ)ー	p. 1
2. コンテストの各部門と校内放送活動研究会	p. 1
3. 参加資格	p. 1
4. 各部門の規定	
(1) アナウンス部門	p. 1
(2) 朗読部門	p. 2
(3) ラジオドキュメント部門	p. 3
(4) テレビドキュメント部門	p. 4
(5) 創作ラジオドラマ部門	p. 5
(6) 創作テレビドラマ部門	p. 6
5. 校内放送活動研究発表会	p. 7
6. 参加申込み	p. 9
7. 審査および表彰	p. 12
8. 著作権について	p. 13
9. その他	p. 13
エントリー・提出の締切・方法 一覧	p. 15
アナウンス部門 原稿書式見本	p. 16
朗読部門 原稿書式見本	p. 17

1. はじめに－研究主題(統一テーマ)－

2025年3月発行の校内放送研究第195号に次のようになっている。

「私たち高校生と放送」

高校生の連帯、先生方とのきずな、地域や社会への結びつきを、日常生活の中で考え、主体的に放送活動に展開すること。

2. コンテストの各部門と校内放送活動研究会

【コンテストの各部門】

- (ア) このコンテストで行われる各部門は、(1) アナウンス (2) 朗読
(3) ラジオドキュメント (4) テレビドキュメント
(5) 創作ラジオドラマ (6) 創作テレビドラマ の6部門である。
※以下、(3)～(6)を「番組部門」と総称する。

【校内放送活動研究会】

- (イ) 各部門の発表に加え、各部門の決勝のあと審査員による研究講座(講評)を行う。
また、全国大会に準じて、校内放送活動から学んだことや、校内放送のアイディアなどを発表する機会として、「校内放送活動研究発表会」を設ける。詳細は7ページを参照すること。

【全国大会への推薦について】

- (ウ) (ア)の各部門の発表と(イ)の「校内放送活動研究発表会」から、全国大会に「大阪府代表」として推薦する。その数については、12ページに示す。

3. 参加資格

このコンテストに参加を考えている学校・生徒は、次の条件を満たすこと。

- (1) 2025(令和7)年6月現在、大阪府下の以下の学校・専修学校・各種学校に在籍中の生徒、および、その作品で、学校長の推薦を得たものであること。

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| ・ 高等学校及び中等教育学校の後期課程 | ・ 支援学校の各高等部 |
| ・ 高等専門学校(第3年次までの生徒) | ・ 専修学校及び各種学校(修業年限が高等学校と同じ) |

- (2) 事前に実施する顧問講習会に、顧問・授業担当者またはそれに代わる教職員もしくは部活動指導員(以下顧問等と記す)が出席していること。(なお、外部指導員は顧問等には含めない。)
- (3) 番組制作の各部門およびアナウンス部門の内容は、高校生のオリジナルに限る。
また、他のコンテスト・コンクールなどに参加した作品、およびそれを改変・改編した作品の参加は認められない。
- (4) 予選当日は、顧問等1名以上が、コンテストの審査に携わること。

4. 各部門の規定

(1) アナウンス部門

- (ア) アナウンスする内容は、自校ニュースなど校内放送に使用するものとし、原稿は今回の大会のために新しく生徒が自作したものとする。
また作品は、放送されることを前提に、表現方法などに留意すること。

【発表時間】

- (イ) 予選・決勝とも **審査番号を含めて 1 分10秒以上 1 分25秒以内**である。
なお、大阪大会では決勝も 発表者の名前は読まないものとする。

【原稿（形式・提出）について】

- (ウ) 参加申込み後、原稿を **大阪大会所定の書式**で電子メールで提出する。
提出方法は、10ページに示す。なお、提出後の改変は認められない。
- (エ) 予選を通過した場合、予選原稿の手直しは認めるが、テーマの変更は認められない。

【決勝での発表について】

- (オ) 決勝の発表では、原稿に続けて課題原稿をアナウンスする。
なお、課題原稿は発表時間には含まないが、**審査の対象**とする。

【その他】

- (カ) その他は、全国大会要項に準じる。

(2) 朗読部門

- (ア) 次の指定作品の中から 1 編を選び、**発表にふさわしい箇所を任意抽出**(脚色・改変は認められない)して朗読する。
- ① 作品は、放送されることを前提に、抽出箇所などに留意すること。
抽出は文頭から開始し、文末で終了とすること。一文途中の開始や終了は改変とみなされる。
- ② 本文中の()内も読むこと(ただし、読み仮名・訳者注は除く)

【課題指定作品】

1)「潮騒」	三島 由紀夫	(新潮文庫)
2)「一色一生」	志村 ふくみ	(講談社文芸文庫)
3)「推し、燃ゆ」	宇佐見 りん	(河出文庫)
4)「不思議な少年」	マーク・トウェイン 著 中野 好夫 訳	(岩波文庫)
5)「世間胸算用」	井原 西鶴	(出版社は問わない)

【注意点】 いずれも、電子書籍は認められない。

作品 1) について、令和2年11月1日新版以降のものに限る。
(それ以外のものは認められない)

作品 2) について、収録作品のいずれを選んでもよい。

作品 4) について、他の出版社、他の翻訳者のものは認められない。

作品 5) について、現代語訳は認められない。

[発表時間]

- (イ) **審査番号・著者名(訳者名は読まない)・作品名を含め、1分30秒以上1分50秒以内**で朗読する。
なお、大阪大会では予選・決勝とも、発表者の名前は読まないものとする。

[作品名の読みについて]

- (ウ) いずれも**上記の書名を「作品名」として読む。**

[原稿(形式・提出)について]

- (エ) 参加申込み後、原稿を**大阪大会所定の書式**で電子メールで提出する。
提出方法は、10ページに示す。なお、提出後の改変は認められない。
- (オ) 作品1)～作品4)については、提出する原稿に抽出箇所の**開始ページ数**を書き入れること。
- (カ) 予選を通過した場合、抽出箇所の変更は認めるが、指定作品の変更は認められない。

[決勝での発表について]

- (キ) 決勝の発表では、原稿に続けて課題原稿を朗読する。
なお、課題原稿は発表時間には含まないが、**審査の対象**とする。

[その他]

- (ク) 文中に短歌・俳句があるとき、繰り返して読まないこととする。
- (ケ) その他は、全国大会要項に準じる。

(3) ラジオドキュメント部門

- (ア) 高校生活や地域社会とのかかわりの中に広く素材を求め、ラジオの特性を生かして制作された、高校生としての視点を大切に、独創的な作品であること。
また作品は、放送されることを前提に、表現方法などに留意すること。

[作品について]

- (イ) 時間は、**6分30秒～7分**とする。時間を厳守すること。
- (ウ) 作品の最後には「制作は〇〇高等学校放送部(放送委員会等)でした」というクレジットコールを入れる。この際、音楽等がかからないように注意する。
また、作品の前後に2秒程度のブランク(無音)を入れること。
- (エ) **MP3形式**(ビットレートは128kbps以下)で収めること。
- (オ) 審査は会場の機材を使用して行う。
- (カ) 計時は最初の音から、クレジットコールの終わりまでとする。
- (キ) 作品の提出方法は、4月27日(日)に行われる「令和7年度 高校生のための放送技術講座(1)」で示す。

[番組進行表について]

- (ク) 全国大会の所定の様式を、コンテストのWebサイトからダウンロードして、必要事項を記入する。
記入したものを**A4判**でプリントアウトし、これに手書きでチェックや署名を行ったうえで、様式の番号順に並べ、これを1つのPDFデータにしたものを提出する。
この際、以下のことに注意すること。

- ① 番組進行表は、次のものをつけること。（◎は必ず添付しなければならない）

- ◎ 表紙・制作意図・スタッフ・確認欄(様式2-1)
※確認欄（チェック、顧問の署名）は手書きすること
- ◎ CUEシート(様式2-2)
- ◎ 権利処理一覧表(様式2-3)
- ◎ 提出前チェック表(様式2-6)

音源を使用した場合

- ・日本レコード協会の許諾証
- ・レコード会社の音源使用許諾申請書および回答書(様式2-4)
- ・著作権者からの使用許諾書のコピー、著作権フリーの条件を示した部分のコピー
- ・取材許諾・著作物等ご提供のお願い(使用許諾・取材許諾)（様式2-5）

- ② 番組進行表は全国大会要項を参照して作成すること。

特に、著作物を全く使用しない場合でも権利処理一覧表(様式2-3)は、紙面に大きく「なし」と記載して、必ずつけること。

- (ケ) 番組進行表の提出方法は、10ページに示す。なお、提出後の改変は認められない。

[その他]

- (コ) 大阪大会では、この部門に1校で2作品以上の参加を認める。

- (サ) 番組制作にあたっては、校内放送研究第195号のp.18「番組制作について」および「番組部門規程 細則」(https://hosokyoiku.jp/ncon_h/info/pdf/72_saisoku.pdf)を必ず読むこと。

- (シ) その他は、全国大会要項に準ずる。

(4) テレビドキュメント部門

- (ア) 高校生活や地域社会とのかかわりの中に広く素材を求め、テレビの特性を生かして制作された、高校生としての視点を大切に、独創的な作品であること。
また作品は、放送されることを前提に、表現方法などに留意すること。

[作品について]

- (イ) 時間は、**7分30秒～8分**とする。時間を厳守すること。

- (ウ) MP4形式(NTSC規格、アスペクト比は16:9、H.264コーデック、HD画質以下〈解像度1080[1920×1080]以下、フレームレート29.97fps(30fps)のみ〉で収めること。

- (エ) 番組の最後には「制作：〇〇高等学校放送部(放送委員会等)」というクレジットタイトルを入れる。

また番組の前後に5秒ずつ所定のテストパターンを録画する。
この際、テストパターンを改変してはいけない。

- (オ) テレビ放送番組等の再録を主体としたものは認められない。

- (カ) 審査は会場の機材を使用して行う。

計時は始めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまでとする。

- (キ) 作品の提出方法は、4月27日(日)に行われる「令和7年度 高校生のための放送技術講座(1)」で示す。

〔番組進行表について〕

- (ク) 全国大会の所定の様式を、コンテストのWebサイトからダウンロードして、必要事項を記入する。
記入したものをA4判でプリントアウトし、これに手書きでチェックや署名を行ったうえで、
様式の番号順に並べ、これを1つのPDFデータにしたものを提出する。
この際、以下のことに注意すること。

- ① 番組進行表は、次のものをつけること。（◎は必ず添付しなければならない）

- ◎ 表紙・制作意図・スタッフ・確認欄(様式2-1)
※確認欄(チェック、顧問の署名)は手書きすること
- ◎ CUEシート(様式2-2)
- ◎ 権利処理一覧表(様式2-3)
- ◎ 提出前チェック表(様式2-6)

音源を使用した場合

- ・日本レコード協会の許諾証
- ・レコード会社の音源使用許諾申請書および回答書(様式2-4)
- ・著作権者からの使用許諾書のコピー、著作権フリーの条件を示した部分のコピー
- ・取材許諾・著作物等ご提供のお願い(使用許諾・取材許諾) (様式2-5)

- ② 番組進行表は全国大会要項を参照して作成すること。
特に、著作物を全く使用しない場合でも権利処理一覧表(様式2-3)は、紙面に大きく
「なし」と記載して、必ずつけること。

- (ケ) 番組進行表の提出方法は、10ページに示す。なお、提出後の改変は認められない。

〔その他〕

- (コ) 大阪大会では、この部門に1校で2作品以上の参加を認める。
- (サ) 番組制作にあたっては、校内放送研究第195号のp.18「番組制作について」および「番組部門規
程 細則」(https://hosokyoiku.jp/ncon_h/info/pdf/72_saisoku.pdf)を必ず読むこと。
- (シ) その他は、全国大会要項に準ずる。

(5) 創作ラジオドラマ部門

- (ア) 脚本は参加資格を有する自校生徒のオリジナル作品であること。
文芸作品などからの脚色や改作は認められない。出演者は自校生徒に限る。
また作品は、放送されることを前提に、表現方法などに留意すること。

〔作品について〕

- (イ) 時間は、8分以内とする。時間を厳守すること。
- (ウ) 作品の最後には「制作は〇〇高等学校放送部(放送委員会等)でした」というクレジットコールを入れる。この際、音楽等がかからないように注意する。
また、作品の前後に2秒程度のブランク(無音)を入れること。
- (エ) MP3形式(ビットレートは128kbps以下)で収めること。
- (オ) 作品の提出方法は、4月27日(日)に行われる「令和7年度 高校生のための放送技術講座(1)」で示す。

〔番組進行表について〕

- (カ) 全国大会の所定の様式を、コンテストのWebサイトからダウンロードして、必要事項を記入する。
記入したものをA4判でプリントアウトし、これに手書きでチェックや署名を行ったうえで、
様式の番号順に並べ、これを1つのPDFデータにしたものを提出する。
この際、以下のことに注意すること。

- ① 番組進行表は、次のものをつけること。（◎は必ず添付しなければならない）

- ◎ 表紙・制作意図・スタッフ・確認欄(様式2-1)
※確認欄(チェック、顧問の署名)は手書きすること
- ◎ CUEシート(様式2-2)
- ◎ 権利処理一覧表(様式2-3)
- ◎ 提出前チェック表(様式2-6)

音源を使用した場合

- ・日本レコード協会の許諾証
- ・レコード会社の音源使用許諾申請書および回答書(様式2-4)
- ・著作権者からの使用許諾書のコピー、著作権フリーの条件を示した部分のコピー
- ・取材許諾・著作物等ご提供のお願い(使用許諾・取材許諾) (様式2-5)

- ② 番組進行表は全国大会要項を参照して作成すること。
特に、著作物を全く使用しない場合でも権利処理一覧表(様式2-3)は、紙面に大きく
「なし」と記載して、必ずつけること。

- (キ) 番組進行表の提出方法は、10ページに示す。なお、提出後の改変は認められない。

〔その他〕

- (ク) 大阪大会では、この部門に1校で2作品以上の参加を認める。
- (ケ) 番組制作にあたっては、校内放送研究第195号のp.18「番組制作について」および「番組部門規程 細則」(https://hosokyoiku.jp/ncon_h/info/pdf/72_saisoku.pdf)を必ず読むこと。
- (コ) その他、全国大会要項を参照のこと。

(6) 創作テレビドラマ部門

- (ア) 脚本は参加資格を有する自校生徒のオリジナル作品であること。
文芸作品などからの脚色や改作は認められない。出演者は自校生徒に限る。
また作品は、放送されることを前提に、表現方法などに留意すること。

〔作品について〕

- (イ) 時間は、8分以内とする。時間を厳守すること。
- (ウ) MP4形式(NTSC規格、アスペクト比は16:9、H.264コーデック、HD画質以下〈解像度1080[1920×1080]以下、フレームレート29.97fps(30fps)のみ〉で収めること。
- (エ) 番組の最後には「制作：〇〇高等学校放送部(放送委員会等)」というクレジットタイトルを入れる。
また番組の前後に5秒ずつ所定のテストパターンを録画する。
この際、テストパターンを改変してはいけない。

- (オ) 作品の提出方法は、4月27日(日)に行われる「令和7年度 高校生のための放送技術講座(1)」で示す。

[番組進行表について]

- (カ) 全国大会の所定の様式を、コンテストのWebサイトからダウンロードして、必要事項を記入する。
記入したものを **A4判**でプリントアウトし、これに手書きでチェックや署名を行ったうえで、様式の番号順に並べ、これを1つのPDFデータにしたものを提出する。
この際、以下のことに注意すること。

- ① 番組進行表は、次のものをつけること。 (◎は必ず添付しなければならない)

- ◎ **表紙・制作意図・スタッフ・確認欄(様式2-1)**
※確認欄(チェック、顧問の署名)は手書きすること
- ◎ **CUEシート(様式2-2)**
- ◎ **権利処理一覧表(様式2-3)**
- ◎ **提出前チェック表(様式2-6)**

音源を使用した場合

- ・日本レコード協会の許諾証
- ・レコード会社の音源使用許諾申請書および回答書(様式2-4)
- ・著作権者からの使用許諾書のコピー、著作権フリーの条件を示した部分のコピー
- ・取材許諾・著作物等ご提供のお願い(使用許諾・取材許諾) (様式2-5)

- ② 番組進行表は全国大会要項を参照して作成すること。
特に、著作物を全く使用しない場合でも権利処理一覧表(様式2-3)は、紙面に大きく「なし」と記載して、必ずつけること。

- (キ) 番組進行表の提出方法は、10ページに示す。なお、提出後の改変は認められない。

[その他]

- (ク) 大阪大会では、この部門に1校で2作品以上の参加を認める。
- (ケ) 番組制作にあたっては、校内放送研究第195号のp.18「番組制作について」および「番組部門規程 細則」(https://hosokyoiku.jp/ncon_h/info/pdf/72_saisoku.pdf)を必ず読むこと。
- (コ) その他、全国大会要項を参照のこと。

5. 校内放送活動研究発表会

- (1) 日常の校内放送活動の中から、問題解決の努力または技術的な創意工夫などを発表する機会を設け、各学校が持っている問題を共有し、ともに解決する場所を提供することを目的とする。
- (2) 発表内容は、校内放送に関するものに限る。
(発表内容の例 校内放送の技術、機材、アナウンス・朗読の技術、番組の制作や編集の技術、部活動・委員会活動の運営方法など)
- (3) 発表校はエントリーの際に、自校の発表がどの類型に該当するかを申告する。
なお、類型は次のとおりとする。

I 類 …アナウンスや朗読に関する研究	II 類 …番組制作に関する研究
III 類 …その他(学校行事の運営、校内放送など)	

【発表について】

- (4) 発表時間は機材調整を含めて **8分以内**とする。
- (5) 発表者は機器操作を含めて **3名まで**とする。
- (6) 発表に伴う資料の配付は、常識の範囲で自由とする。
- (7) 発表は、パソコン(Microsoft社 PowerPointを使用)を用いた、スクリーン1面によるプレゼンテーションとする。
- (8) 使用できる機材等は、次のとおりである。
- a. ノートパソコン1台(Windows11)
アプリケーションソフトウェア
PowerPoint2021
Windows Media Player
 - b. マイク2本
 - c. レーザーポインタ
- (9) PowerPointのデータ容量は **300MB以内**とする。
また、スライド画面の切り替え効果とアニメーションの使用は今回から**可能**とする。

【提出するもの】

- (10) 校内放送研究発表会に参加する学校は、次に示すものを提出すること。
- a. 研究要旨
参加申込み後、**大阪大会所定の書式で**電子メールで提出する。提出については、10ページに示す。
なお、「研究要旨」とは、研究の目的、方法と結論をわかりやすく、200字程度でまとめたものである。
 - b. 番組進行表
発表は公開を前提としているので、「番組進行表」を提出する。
 - ① 全国大会の所定の様式を、コンテストのWebサイトからダウンロードして、必要事項を記入する。記入したものを**A4判でプリントアウトし、これに手書きでチェックや署名を行ったうえで、様式の番号順に並べ、これを1つのPDFデータにしたものを提出**する。
この際、以下のことに注意すること。
 - ② 番組進行表は、次のものをつけること。（◎は必ず添付しなければならない）

- ◎ 表紙・制作意図・スタッフ・確認欄(様式4-1)
※確認欄(チェック、顧問の署名)は**手書き**すること
- ◎ CUEシート(様式4-2)
- ◎ 権利処理一覧表(様式4-3)
- ◎ 提出前チェック表(様式4-6)

音源を使用した場合

- ・日本レコード協会の許諾証
- ・レコード会社の音源使用許諾申請書および回答書(様式4-4)
- ・著作権者からの使用許諾書のコピー、著作権フリーの条件を示した部分のコピー
- ・取材許諾・著作物等ご提供のお願い(使用許諾・取材許諾) (様式4-5)

- ③ 番組進行表は全国大会要項を参照して作成すること。
特に、著作物を全く使用しない場合でも権利処理一覧表(様式4-3)は、紙面に大きく「なし」と記載して、必ずつけること。

- ④ 提出方法については、後日当該校に連絡をする。

【その他】

- (11) 発表希望校が多い場合は、予選審査を行う。
- (12) 予選時の審査の有無を含め、詳細は予選申込み数が確定後改めて参加校の顧問宛に連絡する。
- (13) コンテストにエントリーしている関連の内容、または類似の内容であってはいけない。
特に、本年度のコンテスト作品の上映は、たとえ一部であっても一切認められない。
- (14) メーカー名、商品名の映り込みを避け、特定製品のPRを避けること。
- (15) 発表を希望する学校がない場合、研究発表会は行わないことがある。
- (16) 番組制作にあたっては、校内放送研究第195号のp.18「番組制作について」および「番組部門規程細則」(https://hosokyoiku.jp/ncon_h/info/pdf/72_saisoku.pdf)を**必ず**読むこと。
- (17) その他は全国大会要項に準ずる。

6. 参加申込み

(1) 参加費

- (ア) 各部門の参加費は次の通りとする。

・アナウンス・朗読部門	参加1名につき	1,500円
・番組部門	1作品につき	2,000円
・校内放送活動研究発表会	1発表につき	2,000円

【納入方法】

- (イ) いずれも次の指定口座へ振り込む。なお、振込手数料は**各校で負担**のこと。

銀行名	： ゆうちょ銀行
記号番号	： 00960 - 1 - 328796
加入者名	： 大阪府高校放送コンテスト委員会

(2) 参加申込書類など

【必要なファイルのダウンロードについて】

- (ア) エントリーシート(参加申込書)、原稿用紙、研究要旨などの必要なファイルは、次のサイトからダウンロードすること。

https://www.koushiken.jp

【大会参加に関する連絡・諸注意の案内について】

- (イ) 今回、大会参加に関しての連絡事項や諸注意は、4月27日(日)に行われる「令和7年度 高校生のための放送技術講座(1)」で行う。**顧問または部活動指導員は必ず参加**すること。

[エントリーについて]

(ウ) ダウンロードした「エントリーシート」(Excel形式)に必要な事項を入力の上、電子メールに添付して送信する。
送金の締切りは、**5月16日(金)** とする。

(エ) 上記のエントリーシートのうち、「参加申込書」のみを印刷し、**公印を押印したもの**と、**参加費を振り込んだときの「利用明細票」や「払込金受領書」など**(コピーでも可)を、**大阪夕陽丘学園高校まで郵送**する。発行された「利用明細票」等をもって参加費の領収書に代える。

なお、**公印のある申込書をコンテスト委員会が受領して初めて正式な申込み**となる。

(参加費はインターネット等を利用した振替で送金してもかまわない。

その場合は、その旨を記入した用紙で参加費振込の受領書に替えることができる。)

(オ) 参加申込書等の提出締切りは **5月26日(月)17時 必着**とする。
大阪夕陽丘学園高校に郵送でも持参でも構わない。持参の場合も**17時までを厳守**とする。

[アナウンス部門・朗読部門]

【原稿データの提出】

(カ) 「アナウンス部門原稿ファイル」「朗読部門原稿ファイル」(Word形式)に審査順などの必要事項を入力の上、**参加者1人につき1ファイル**で作成し、電子メールに添付して送信する。

(注意してほしいこと)

・ フォントや文字サイズなどの**ページ設定を変えず**に入力をする。

・ ファイル名は「**審査番号(半角).docx**」とする。

例：A01.docx E99.docx (※拡張子は入力しなくても通常は自動で付与される。)

・ JIS規格にない漢字は、**外字を作らず**、ひらがななどで入力する。

・ **提出後の原稿の改変は認められない。**

提出後に、ワープロの誤変換など、原稿の改変ではない修正があった場合は、福井高校の姫路まで速やかに連絡すること。

(キ) 原稿データの提出締切りは、**6月2日(月)**とする。

[番組部門]

【番組進行表提出】

(ク) 提出締切りを **6月5日(木)**とする。

各部門の「番組進行表」に書かれているようにして、**1作品につき1ファイル**で作成し、電子メールに添付して送信する。

※番組進行表には、著作権関係の書類も**必ず**添付すること。

【作品データ提出】

(ケ) 提出締切りは、**6月4日(水)**とする。提出先は11ページの(3)を参照のこと。

提出方法は、4月27日(日)に行われる「令和7年度 高校生のための放送技術講座(1)」で行う。

[校内放送活動研究発表会]

(コ) 「校内放送研究発表会 研究要旨」(Excel形式)に必要な事項を入力の上、電子メールに添付して送信する。その提出締切りを **5月26日(月)** とする。提出先は11ページの(3)を参照のこと。

【番組進行表について】

- (サ) 番組部門にある内容で「番組進行表」の提出を求める。
締切りや方法については、後日当該校に連絡する。

(3) 申込・提出先

- (ア) エントリーシート、アナウンス・朗読部門の原稿・校内放送活動研究発表会の研究要旨など
電子メールで提出するもの

送信先： n-con@koushiken.jp

(申込に関してお願いしたいこと)

- ① 件名に「〇〇高等学校(略称可)」と入れる。
- ② 送信後、「受信完了」という電子メールが自動送信される。
5分経っても受信完了メールが届かない場合は、メールがうまく送信されていない可能性がある。そのときは、時間を空けて再度送信するか、下記の(4)まで問合せること。
特に、最近は「迷惑メールフォルダ」に振り分けられている場合や、各学校のセキュリティ設定により、自動的に削除されている例もあるので注意されたい。
- ③ このアドレスは、申込専用である。問合せなどのメールは下記の(4)にお願いしたい。
- ④ 申込時に送信した電子メールアドレスに対し、コンテスト委員会から連絡のメールを送信することがあるので、日ごろメール着信を確認しているメールアドレスから申込むこと。

- (イ) 公印のある申込書など郵送するもの

〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町7-72
大阪夕陽丘学園高等学校 中井 勝久
TEL 06-6771-9510 FAX 06-6773-0356
E-Mail nakai@koushiken.jp

封筒には、「放送コンテスト申込」と朱書すること。

(4) 申込関係の連絡先

〒567-0067 茨木市西福井3-33-11
大阪府立福井高等学校 姫路 裕敏
TEL 072-641-4361 FAX 072-641-4692
E-Mail himeji@koushiken.jp

7. 審査および表彰

(1) 予選審査

(ア) 番組部門

日 時 6月7日(土) 非公開審査とする。

(イ) アナウンス部門・朗読部門

日 時 6月8日(日) 10時 ~ 17時
場 所 松原市河合2-10-65
阪南大学高等学校
TEL 072-332-1221
最寄り駅 近鉄 南大阪線 高見ノ里

(2) 決勝審査(全部門公開審査)・校内放送活動研究会

日 時 6月15日(日) 10時 ~ 17時
場 所 大阪市中央区本町4-1-23
相愛高等学校
TEL 06-6262-0621
最寄り駅 OsakaMetro 御堂筋線・四つ橋線・中央線 本町

(3) 審査

会長および会長が委嘱する高校・NHK 関係者などで行う。

(4) 表彰

●大阪府高等学校視聴覚教育研究会会長賞	
総合優秀校	第1位～3位
アナウンス部門	入賞 第1位～6位
朗読部門	入賞 第1位～6位
ドキュメント部門(ラジオ・テレビ)	入賞 第1位～4位
創作ドラマ部門(ラジオ・テレビ)	入賞 第1位～3位
(ただし、各部門とも入選若干名を表彰することがある)	
校内放送活動研究発表会	研究奨励賞
●NHK 大阪放送局長賞	各部門 第1位

●上記大阪大会入賞者および入賞作品は、審議の上、全国高校放送コンテスト大阪府代表として推薦する。(ただし創作ドラマ部門については第2位までの2作品、校内放送活動研究発表会については2校とする。)

●総合優秀校は、個人参加部門(アナウンス・朗読)と団体参加部門(番組部門)の両部門にわたって参加している学校を対象とし、各部門の成績を総合的に判断して選定する。

8. 著作権について

- (1) 「著作権法」には、次のように決められている。

音楽、写真、美術、放送番組やパソコンなど、自作以外の著作物の複製を利用する場合は、著作権者に使用目的などを説明して理解と協力を求め、使用許可を得ること。
同様にプライバシーを含む人権についても十分配慮し、許可を得ること。

- (2) 放送コンテストは高校生の創造性を大切にするという主旨からも、高校生自身による台本作り、作曲、演奏、制作(絵画、写真)の使用が望まれる。
- (3) 番組作品中で、自作以外の著作物から音楽や写真・映像等を使用する場合、著作権者の許諾を得る必要がある。著作権の処理については、各校で責任を持って行うこと。
- (4) JASRACおよびNexToneが管理している楽曲の処理は、各校で事前に処理されたうえで申し込むこと。
- (5) 自作以外の著作物を使用する場合は、著作権者の許諾を得た上で使用し、番組進行表の様式2-3「権利処理一覧表」に記載すること。音楽など数曲、数件にわたる場合は、使用の順に記入すること。
① 使用した作品名や図書名等、② 制作会社名及び発売会社名等、③ 作者名、著作者名等、④ 使用した部分に出演者がいる場合はその名前等、自己保有でない場合は⑤ 所有者名を付記する。
様式は、全国大会要項に準ずる。
- (6) 音楽著作権の処理について、市販の音源を利用する場合は、作詞家、作曲家の著作権処理(JASRAC)と、音源製作者の著作隣接権処理(レコード製作者等)の両方が必要となる。
著作権フリーで制作者へ了解を得ることが必要でない場合を除き、必ず全国大会要項に記載されたとおりに著作権処理を行うこと。
- (7) その他、詳細については全国大会要項を参照のこと。
なお、著作権処理に不備がある場合は、審査できないことがある。

9. その他

- (1) 学校長の公印がある参加申込書をコンテスト委員会が受領して初めて正式な申込みとなる。
- (2) 各申込みの期日は厳守すること。また、提出物は記入漏れや様式違反のないように注意すること。
場合によっては減点や失格の対象となることがある。
- (3) 全国大会要項「校内放送研究」は、4月27日(日)の技術講座参加校に配布する。
コンテストへの参加を考えている学校の顧問または部活動指導員は**必ず参加**のこと。
- (4) 各参加作品は、全国大会要項に準じて審査するので、規格以外のものは除外する。
- (5) アナウンス・朗読部門は、前年度優勝者の同一部門への参加を認める。
- (6) アナウンス・朗読部門は、**1名1部門にしか参加できない**。
- (7) 決勝当日に出場できない場合は棄権とする。
- (8) 予選の通過者・通過作品は、翌日までに(11)の大阪府高等学校視聴覚教育研究会のホームページ上で発表する。

(9) 全国大会出場の参加費や旅費などは一切本人または、各校の負担とする。

(10) その他、不明な点は下記へお願いしたい。

〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町7-72 大阪夕陽丘学園高等学校 中井 勝久 TEL 06-6771-9510 FAX 06-6773-0356 E-Mail nakai@koushiken.jp
--

(11) 以下の放送コンテスト関係のホームページも参考のこと。

★大阪府高等学校視聴覚教育研究会のホームページ

(大阪大会の申し込み関連ファイルの配布、コンテストの結果・講評もこちらから)

URL <https://www.koushiken.jp/>

★NHK 杯全国高校放送コンテストのホームページ (NコンWEB)

(番組部門の各様式など [全国大会要項] や、全国大会結果報告等が掲載される)

URL <https://www.nhk.or.jp/event/n-con> (NコンWEB)

<https://www.nhk.or.jp/event/n-con/hs/contest.html> (全国大会要項)

(12) 各種感染症の拡大防止などのために、急遽取りやめや延期など、予定が変更される場合がある。
その場合も(11)の大阪府高等学校視聴覚教育研究会のホームページで告知するので確認すること。

○エントリー・提出の締切り・方法の一覧

項 目（何を提出するのか）	締切り日	提出方法
1. エントリーシート データ	5月16日(金)	指定アドレス
2. 公印を押した「参加申込書」 参加費振込の「利用明細書」など	5月26日(月) (17時までに必着)	郵送(持参も可)
3. 研究発表 研究要旨	5月26日(月)	指定アドレス
4. アナウンス・朗読 原稿データ	6月2日(月)	指定アドレス
5. 番組 作品データ	6月4日(水)	指定アドレス
6. ドキュメント(ラジオ・テレビ) 創作ドラマ(ラジオ・テレビ) 番組進行表	6月5日(木)	指定アドレス
7. 研究発表 番組進行表	当該校に別途連絡	(別途指示)

※提出方法

指定アドレス：n-con@koushiken.jp	
郵 送：	大阪夕陽丘学園高等学校 中井 勝久 宛 (所在地)〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町7-72

アナウンス部門 原稿書式見本

(原稿ファイルをダウンロードして使用すること)

アナウンス部門

学校名 大阪府立阿奈高等学校
名 前 原稿 見本

審査番号 [A 0 5]

注意書きの行を消さずに
8行めから本文を記入する

学校名は区別できる程度に
省略してもかまわない

審査番号をそのまま記入する
(アルファベット + 数字 2 桁)
※ ただし、審査で発表する際は、アルファベットと
十の位のゼロは読まない
(例) A05→「5 番」 B20→「20 番」と読む

本文を入力すること。
すること。
いこと！
付
行うこと。

——この下の行から本文を入力してください——

放送部の最大の公式戦は、毎年6月に行われるNHK杯全国高校放送コンテストです。この大会は、アナウンスや朗読、番組制作など、7つの部門に分かれ、日ごろの練習の成果を競うもので、昨年度は、39校から470人の参加がありました。

大会運営の中居先生は「多くの高校生が参加してくれてとてもうれしい。放送部の生徒ががんばっている姿を、もっと多くの人たちに知ってほしい」とおっしゃいます。

一方で、参加者が多くなったことでの悩みもあります。規定を守っていない参加者も増えてしまったことです。アナウンスや朗読の部門では、前もって提出する原稿が規定違反になっていると、減点されてしまいます。規定違反さえなければ全国大会へ行けたのにという……

あらかじめ設定してある書式
(ページ設定、フォント、サイズ等)
を変えないこと

入力が終われば、内容を再度確認して保存する

ファイル名 「審査番号(半角).docx」
↑今年度から変更

(例) A05.docx B20.docx

※「.docx」の部分は自動で設定される

このファイルには以下の書式設定がされている

1行の文字数 43文字(字送り 12.15pt)
1ページ行数 36行(行送り 21pt)

余白 上下 15mm 左右 13mm

フォント MSゴシック 12pt

今年度の様式であるか確認
(毎年ダウンロードをする)

72回大会 アナウンス

朗読部門 原稿書式見本

(原稿ファイルをダウンロードして使用すること)

朗 読 部 門

学校名 日本橋独大附属夜見高校
名 前 源光 実翻

作品番号 1
作者名 芥川龍之介
作品名 (朗読時の読みの通りに) 羅生門
抽出部分の開始ページ数 4 5

審査番号 [E 0 3]

審査番号をそのまま記入する
(アルファベット + 数字 2 桁)
※ ただし、審査で発表する際は、アルファベットと
十の位のゼロは読まない
(例) E03→「3 番」 D30→「30 番」と読む

要項を熟読し、指定されたとおりに記入する。!!
※ ミスの最も多い箇所

「形式を選択して貼付」

——この下の行から本文を入力してください——

ある日の暮れ方の事である。一人の下人が、羅生門の下で
広い門の下には、この男のほかに誰もいない。ただ、所々丹塗の剥げた、大きな円柱に、蟋蟀
が一匹とまっている。羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかに、雨やみをする市女
笠や揉烏帽子が、もう二、三人はありそうなものである。それが、この男のほかに誰もいない。
なぜかという、この二、三年、京都には、地震とか辻風とか火事とか饑饉とかいう災いがつ
づいてきた。そこで洛中のさびれ方は一通りではない。

改行や漢字等の表記も、作品に忠実に
入力する (JIS にない難解な漢字につ
いてのみ、ひらがなで入力しても良い)

文頭から開始し、文末で終了とする。
一文途中の開始・終了は改変と見なす。

あらかじめ設定してある書式
(ページ設定、フォント、サイズ等)
を変えないこと

このファイルには以下の書式設定がされている

1 行の文字数 43 文字 (字送り 12.15pt)
1 ページ行数 36 行 (行送り 21pt)

余白 上下 15mm 左右 13mm

フォント MS ゴシック 12pt

入力が終われば、内容を再度確認して保存する

ファイル名 「審査番号 (半角).docx」
↑ 今年度から変更

(例) E03.docx D30.docx

※ 「.docx」の部分は自動で設定される

今年度の様式であるか確認
(毎年ダウンロードをする)

72 回大会 朗読